



▲館内に市民歌が響き渡る市民会館最後のステージ

8月6日、市民会館（手代町）で「白河市民会館さよならイベント」52年間の感謝を込めて「」が行われました。

第一部では早稲田大学OGの真打落語家による「ワセジョ落語会」、第二部では同大学グリークラブによる合唱コンサートが行われ、最後は同クラブと市民特設女声合唱団による混声合唱で市民歌を合唱し、イベントを締めくくりました。

9月末の閉館を惜しみ会場に足を運んだ約800人は、落語で笑い、合唱の歌声に聞き入りました。

白河市民会館さよならイベント
笑いと歌で閉館を惜しむ



▲生徒たちにまちづくりを語る鈴木市長

7月15日・19日、8月29日・30日、中学生がまちづくりへの提案や提言を行い、鈴木市長と懇談する「しらかわ未来フォーラム」が市内全中学校で行われました。

これは、選挙権年齢の引き下げに伴い、若い世代から政治への関心を高めるとともに、白河のまちづくりを通し、郷土愛を育むため各中学校で企画したものです。

中学生は医療、教育・子育て支援の充実など、テーマごとに考えを述べ、鈴木市長は中学生の提言に丁寧に答えました。

「しらかわ未来フォーラム」開催
中学生が市長と懇談



▲おそろいの浴衣で踊る参加者

8月7日、JＲ白河駅前周辺で「白河関まつり」が行われました。

白河駅前イベント広場では、「白河伝統芸能フェスティバル」で民謡や民舞、和太鼓演奏が披露されたほか、小峰通りでは、23団体約1,300人が息の合った「白河関の踊り流し」で会場を盛り上げました。また、夜には「市民納涼花火大会」で城山公園から5,200発の花火が打ち上げられ、夜空を華やかに彩りました。

会場には家族連れや友人同士など多くの方が訪れ、1日を通し夏の風物詩を堪能しました。

白河関まつり
夏の風物詩を堪能



▲リニューアルオープンセレモニーの様子

8月3日、JＲ白河駅前自転車等駐車場公衆トイレ「Wel Come」のリニューアルオープンセレモニーが行われました。

このトイレは、大手百貨店をはじめ、全国でトイレを専門的に手掛ける小林純子さん（設計事務所ゴンドラ）により設計されたもので、特に女性利用者の視点に立った最先端の設備が取り入れられています。

式典では、関係者がテープカットを行ったほか、白一小児童クラブの子どもたちがバルーンリリースを行い、新施設の完成を喜びました。

「駅前トイレ」リニューアルオープン
女性目線の最先端トイレ



▲見事な土俵入りを披露する横綱日馬富士

8月8日、中央体育館（北中川原）で、27年ぶりとなる夏巡業「大相撲白河場所」が行われました。

当日は横綱以下、総勢約180人の力士が参加し、中でも白鵬と日馬富士による横綱土俵入りや、大関豪栄道、前頭逸ノ城など、人気力士の迫力ある取組に、大勢の観客から歓声と拍手が送られました。

また、ちびっこわんぱく相撲や初切、相撲甚句など、巡業ならではの催しに、会場は大いに盛り上がり、約2,300人の来場者は、楽しいひとときを過ごしました。

大相撲白河場所
迫力ある取組に大歓声



▲参加者と一緒に走り、指導する藤田さん

8月4日・5日の2日間、しらかわカタルルススポーツパーク陸上競技場（中田）で、男子マラソンの前日本記録保持者である駒澤大学陸上競技部コーチ藤田敦史さん（本市出身）による、ランニングクリニックが行われました。

地域の子どもの競技力向上を目的として開催されたもので、県南地方の中高校生約80人が参加しました。

藤田コーチは「目標を持ち努力することが大切」と話し、実技指導を行いました。参加した生徒たちは、真剣な表情で取り組んでいました。

ランニングクリニック開催
藤田敦史さんが学生を指導